

教会だより

松本カトリック教会
教会委員会
松本市丸の内9-32
TEL 0263-32-0795

《神父のつぶやき》

主任司祭 白木信一

「教会」と聞くと、キリスト教の教会を連想するかと思いますが、キリスト教だけが「教会」という言葉を使っているわけではありません。他の教団、例えば天理教も使っており、「天理教〇〇教会」という看板を見たことがあります。とはいえ、おそらく、「教会」と聞くとキリスト教の教会の意味で一般的には知られているのではないのでしょうか。

では、「教会」とは何でしょう。私が持っている古い国語辞典では、①同一宗教の信徒の集団 ②特にキリスト教徒の集団 ③教会堂、とあります。信徒の方が「教会に行く」と言う場合と、信徒でない方が「教会に行く」と言う場合とでは、内容が違うのではないのでしょうか。信徒の方の場合は、礼拝なり教会の用事のためにといった、信仰の意味合いだと思いますが、信徒でない方の場合、教会という場所に行くとか、教会の建物を見に行くといった意味合いではないのでしょうか。

このように、巷では「教会」というと場所なり建物をさして言っている場合が多いのではないのでしょうか。では、カトリック教会自体は、教会をどのように捉えているのでしょうか。教会を指すのにいろいろな表現があります。「神の民」、「キリストのからだ」、「聖霊の神殿」、「キリストの花嫁」といった表現などです。信仰宣言の中で唱えている、「聖なる普遍の教会」「使徒継承の教会」といった表現もあります。

先ほど紹介した国語辞典の①の説明は、「教会」と訳されているギリシア語「エクレシア」の意味に近いと思います。「エクレシア」という語は「エクレオ」（招く、招集する）という動詞から来る語で、当時ギリシアの議会で使われた語を、教会を示す語としたのでした。すなわち、神さまの招きに応じて集っている集団という意味で使われるようになったそうです。ただ、これだけでは教会のすべてを表してはならず、一面を表しているにすぎません。それゆえ、「キリストのからだ」とか「キリストの花嫁」といったように、他の言い方で「教会」というもののいろいろな面を表しています。

2000年ほどの歴史をもつ教会は、第二バチカン公会議における『教会憲章』において、教会について「教会はキリストにおけるいわば秘跡、すなわち神との親密な交わりと全人類一致のしるし、道具であり、---。」と述べています。

おそらく、教会は秘跡であるという捉え方は初めて聴く方もおられるかもしれません。秘跡と言うと、教会の七つの秘跡を連想するかと思いますが、教会そのものが秘跡であり、教会を「根源秘跡」（第二の秘跡）と表します。

教会のすべての活動を秘跡的なものと言うことができますが、キリストの現存を特に効果的に媒介する7つの儀式を、カトリック教会は特別に7つの「秘跡」と名付けています。

ちなみに、「父と私とは一つである」と言うキリストのことを「原秘跡」（第一の秘跡）と言います。そこから、キリストに由来する教会は、聖霊の働きにより、キリストとの出会いを媒介する「根源秘跡」と呼ぶことができると説明しているのです。

私たちの小教区がこの意味での教会（秘跡）として成熟していくことに努めたいものです。



横浜山手教会への巡礼

《教会委員会より》

- ウクライナ支援募金、4月～6月分の募金額は10,152円。全額 JCF に送金済み
- 9月21日(日) ミサの中で「敬老の祝福」を実施予定
- 9月20日(土) ベトナム語ミサ
- 10月25日(土) やまびこドームでフィリピンコミュニティのイベントを開催予定
- 11月14～15日 山梨県でフィリピンコミュニティ黙想会
- 12月7日(日) 待降節黙想会（指導司祭：聖パウロ会 山内神父様）
- 12月21日（土）ベトナム語ミサ
- 12月27日(土) フィリピンコミュニティ黙想会・タガログ語のミサ

6月29日(日)、典礼勉強会があり、前半24名、後半17名の方が参加されました。

また、8月31日(日)には、侍者の勉強会がありました。

第一日曜日は答唱詩編の練習、第二日曜日は聖歌の練習をしています。
多くの皆様のご参加をお待ちしています。

大掃除にご協力ください！
10月26日(日)ミサ後です。

地区別 交流会

8月15日(金)、E地区（安曇野以北）の地区別交流会が行われました。
たくさんの方と、たくさんお話しすることができ、とても有意義で楽しい時間となりました！



8月6日、私たちは横浜のカトリック山手教会へ巡礼の旅に出かけました。事前の準備から当日の移動まで、多くの方々の温かい協力に支えられ、無事に恵み豊かな一日を過ごすことができました。

バスでの移動や中華街での昼食は交わりの時間でもありました。参加者同士の会話や祈りを通して、心がひとつに結ばれていくのを感じました。山手教会でのミサは、聖堂の荘厳な雰囲気にも包まれながら神の恵みを深く味わうことができました。この巡礼を通して、交わりの大切さと私たちが多くの恵みに支えられている事に改めて気づくことができました。最後に、この巡礼に関わってくださったすべての方々に心より感謝申し上げます。

寺島かおり

カトリック山手教会への巡礼を終えて

今年、幸いにも25年に一度の巡礼の年にあたり、同じ信仰を共にする兄弟姉妹と巡礼の旅が無事にできたことを神に感謝します。

この巡礼の旅を準備してくださった、養成と典礼の係の皆さん、ほんとうにありがとうございました。

また、山手教会の皆様とお会いできて嬉しく思いました。ある方のご両親様が信州出身で、上田にいらっしゃるのと似ていると仰ってくださいました。私の家系の中で上田に養子に行った人がいます。何か不思議な縁を感じました。

横浜はかつて若い時代に暮らしたところであり約30年ぶりでした。当時はキリスト教のことも知らず、信仰のことも知らない生活でしたが、歴史の中に内在する神の摂理とくすしき計らいによって信仰の世界に入って10年以上が過ぎました。

この信仰の旅は魂の巡礼の旅でもあり、永遠の世界に望みを抱いてこれからの旅路を歩いて行く私たちにとって、励ましと喜びの旅でもありました。

また山手教会でミサを捧げられたことを嬉しく思います。

中信地区典礼委員会に初めて参加した時、野田神父様が「ミサをどこで捧げても天上の教会と結びついてる」とおっしゃっていましたが、聖霊の助けを受けて天上の教会と一緒にあってこれからもいいミサが捧げられるように、皆様と一緒に頑張っていきたいと思います。

まだまだ、永遠を求める魂の旅はこれからも続きますが、皆様 よろしく願いいたします。

1ページ目の写真が巡礼時の集合写真です

山崎哲

祝 初聖体



6月22日に、3名が初聖体を受けました。 おめでとうございます！
 (左から ジェフ・エイドリアン・ラバホ くん、 アビゲイル・ラバホ ちゃん、
 アントニオ・マサトシ・ガルシア・イリホシ くん)

今日一日は楽しかったよ

名 前 ジェフ

今日はじめて キル
 ストのおん体を食べました。
 食べたあとに、おいしかったよ
 でも、私はちょっとおどろいた。ず
 っと思いだしてあげました。

6/22

名 前 アビゲイル

はじめこのはつせいを
 いだったけめよくちやた
 りしかったごすのかみ
 さまのことやけこうおほ
 えをいごす。

名前 アントニオ

転出

小口里沙子さん、映里加さん、莉加さん
 (東京・麴町教会へ)

お元気で！

帰天

バルナバ 吉野英明 (6月8日)
 ヨハネ 西村喜代志 (8月20日)
 アウグスティヌス 大久保利明さん
 (9月4日)

永遠の安らぎを
 お祈りします